



平成 25 年 2 月 12 日

各 位

会 社 名 豊 商 事 株 式 会 社
代 表 者 名 取 締 役 社 長 石 黒 文 博
(J A S D A Q ・ コード番号 8 7 4 7)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 管 理 本 部 長 篠 塚 幸 治
電 話 (0 3) 3 6 6 7 - 5 2 1 1 (代 表)

平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計の連結業績見通しに関するお知らせ

平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）の連結業績につきましては現在集計中ですが、決算の概要がまとまりましたので速報値としてお知らせいたしますとともに、前年同期実績と比較して差異が生じる見込みですので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計期間の業績速報値及び業績の差異

(1) 連結

(単位：百万円)

	営業収益	営業利益	経常利益	四半期(当期)純利益
前年同期実績 (平成 24 年 3 月期第 3 四半期累計) (A)	3,591	150	196	22
当第 3 四半期連結累計期間実績見込み (平成 25 年 3 月期第 3 四半期累計) (B)	2,933	△217	△217	△165
増減額 (B-A)	△658	△368	△413	△188
増減率 (%)	△18.3	—	—	—
(参考) 平成 24 年 3 月期実績	4,875	314	354	259

2. 差異が生じた理由

連結業績見込み

当第 3 四半期連結累計期間（平成 24 年 4 月 1 日～平成 24 年 12 月 31 日）の商品先物市場においては、欧州債務危機に端を発した世界的な金融不安から、日経平均株価が再び 10,000 円を割り込むなど景気後退懸念が台頭し、さらに中国経済の成長鈍化見通しなどが圧迫要因となっており、11 月に衆議院の解散及び総選挙の実施が表明され、その後、政権交代に対する期待感等から景気回復の兆しが見えてまいりましたが、当社の連結業績については、商品先物取引の出来高は 1,533 千枚（前年同期比 24.3%減）となり、金などの貴金属市場における手数料が伸び悩んだことから、営業収益は 2,933 百万円（前年同期比 18.3%減）となる見込みであります。受取手数料は 2,795 百万円（前年同期比 16.2%減）、自己ディーリング（売買損益）は 102 百万円（前年同期比 52.8%減）の計上となる見込みであります。

この営業収益の減少により、営業利益は△217 百万円（前年同期は 150 百万円）、経常利益は△217 百万円（前年同期は 196 百万円）を計上した結果、四半期純利益は△165 百万円（前年同期は 22 百万円）となる見込みであります。

以 上